

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	社会福祉法人アスクこども育成会 アスク向日保育園	施設 種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和 3年 12月 10日

総 評	<p>アスク向日保育園は向日市の北部の広い田畑に囲まれ、自然を身近に感じられる環境の中にある保育園です。その環境を活かし、虫捕りや散歩など自然を満喫しながら経験を深めています。保育活動では、体操教室、リトミック、英語、LEGOスクールといった外部講師を導入しています。また、子どもたちと育てた野菜を使ったクッキング保育を行ったりと、子どもの興味・関心を引き出しつつ感受性や知的好奇心を伸ばせる保育に努めています。</p> <p>職員の育成に力を注ぎ、職員が自分の将来像を描きやすいキャリアパスを法人独自に作成し、個人の研修計画や理事長自ら行う個別面談を通して個々人の目標を明確にしつつ、組織だったサポートで職員のキャリア形成に努めています。</p> <p>コロナ禍の為現在は縮小していますが、未就園児や育児に悩む保護者のために毎木曜日園庭開放と育児相談を行ったり、近隣の高齢者施設への訪問を行ったりと、保育園ならではの社会資源を地域へ還元しています。</p> <p>経営や財務面を支える法人本部がサポートを行うことで、園が保育現場に特化した役割を担っています。今後、法人内での連携をさらに深めることで、スケールメリットを生かした計画的な保育運営の充実が期待できます。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間、月案指導計画に地域との関わりを文書化しています。コロナ禍の間は実施できていませんが、例年近隣の高齢者施設を訪問し、入居者の方々との触れ合い活動を行ったり、散歩MAPを作成し、玄関に掲示することで近隣の遊び場所を保護者に紹介したりしています。また、近隣の中学校で行われる様々な職業紹介の授業にボランティアとして職員を派遣するなど地域との交流に職員も含め努めています。</li> <li>・アセスメントシートとして「入園前面談シート」が策定されており、またそのマニュアルがあることで適切なアセスメントを行うことにつながっています。0～2歳児と加配児は毎月「個別指導計画」が策定されており、「巡回指導カウンセラー」によるアドバイスは「巡回指導報告書」としてまとめられた上で、指導計画にも反映されています。指導計画の見直しを年4回行い、園長と主任が内容を確認し、担任保育士へ指導助言する仕組みがあります。見直し内容についても職員会議で周知し全体で共有することで保育の向上に結びつく取り組みとなっています。</li> <li>・園周辺の恵まれた自然環境の中で虫取りをしたり散歩をしたり、子どもたちは自然を満喫しながら経験を深めています。また、体操教室、リトミック、英語、LEGOスクールといった外部講師を招き入れ、様々な体験を得られるよう保育環境の充実に励んでいます。</li> </ul>

<p>特に改善が 望まれる点(※)</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・中・長期計画は法人本部が中心となり福祉事業の動向や法人全体の課題を考慮した上で5か年及び単年度の事業・財務計画を策定し、定期的な見直しを理事会等で行っています。法人全体の意向だけでなく、各保育園が所属する自治体などの福祉ニーズや地域色などを鑑み、園毎の数値目標や計画を定めたより具体的な単年度の事業計画を策定するとより良いでしょう。</li><li>・各クラスにマニュアルファイルを設置しています。衛生関連のマニュアル内に部分的な保育マニュアル（保育についての標準的な実施方法）があります。OJTで伝えているより多くの実施方法を明文化することで保育内容の検証や見直しを行うとなお良いでしょう。</li><li>・虐待防止マニュアルを整備し、園長が定期的に会議で話をする事で職員全員が虐待の早期発見や予防に努めています。今後は虐待防止の為の研修を実施し、より具体的な対応や注意点の内容を職員に周知すると共に、研修の内容を記録に残しマニュアルの定期的な見直しを行うとより良いでしょう。</li></ul>
---------------------------	---

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

## 【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご注意ください】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	社会福祉法人アスクこども育成会 アスク向日保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	令和3年12月10日

**I 福祉サービスの基本方針と組織**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a
[自由記述欄]					
<p>・運営理念、保育理念、基本方針が入園のしおり（重要事項説明書）等に明文化されており、入職の際の研修や職員会議などで職員に周知しています。保護者にも入園説明会時に説明をし、園の玄関にも掲示し、周知を図っています。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	b
[自由記述欄]					
<p>・向江市が策定している地域福祉計画などから人口推移や待機児童の情報を得ています。コロナ禍の影響で園長会などの各種会議が実施できない状況が続いていますが、独自に他園と連携を取る仕組みを計画したり、法人本部と情報連携を行うことで事業経営を円滑に行えるよう努めています。今後は本部との双方向の連携をより密にしつつ、園としても経営における課題を分析し、具体的なデータとして把握できる仕組みを構築するとより良いでしょう。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	a
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	b
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	b
[自由記述欄]					
<p>・中・長期計画は法人本部が中心となり福祉事業の動向や法人全体の課題を考慮した上で、5か年及び単年度の事業・財務計画を策定し、定期的な見直しを理事会等で行っています。法人全体の意向だけでなく、各保育園が所属する自治体などの福祉ニーズや地域色などを鑑み、園毎の数値目標や計画を定めたより具体的な単年度の事業計画を策定するとより良いでしょう。</p> <p>・法人本部へ各個人から直接意見ができるように職員対象にアンケートを年1回実施しています。また、理事長と一般職員の直接面談を全職員に対して年3回行い、職員の意見を広く集約して事業計画を策定しています。出来上がった事業計画を職員や保護者へ周知し理解を得ることで、保育環境のさらなる向上が図れるでしょう。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	b
[自由記述欄]					
<p>・第三者評価を定期的に見直し改善に努めています。月間の指導計画の中で保育内容の評価・反省を毎月行い、職員会議の中でより質の高い保育内容になるよう見直しを行っています。また、法人独自の「保育所自己評価表」を作成し、園では年2回、法人本部へは年1回職員各個人が保育内容の評価を報告し、それらを元に課題の検討を行っています。今後は、改善内容の分析や検討する場をより組織的に位置づけ、法人本部と各種現場の責任者が積極的に参画できる体制を組まれるとより良いでしょう。</p>					

**II 組織の運営管理**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	b
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	b

**[自由記述欄]**

・施設長の役割を職務分担表などに明文化し、入園時に施設長の責任や園の取り組みの説明を保護者に向けて行っています。行政との連絡を密にし、各種管理者研修へ参加するなど、新しい情報収集やその理解に努めています。保育に関する情報だけでなく、園や職員、利用者などを取り巻く様々な要因、社会動向に関しても情報を収集し、新たな状況や法改正、体制の構築に対して多面的に配慮、対応できるよう備えるとより良いでしょう。

・毎日昼会を行い、注意すべきことや新たな取組、情報を職員と共有するよう取り組んでいます。また、業務省力化の一環として「保育・教育施設向け業務支援ツール コドモン」を導入するなど、業務省力化に取り組んでいます。

・全体の人事、財務関係などの管理は法人本部で行っていますので、現場に近い場所で、より具体的な取り組みが行えるよう、本部との連携や情報交換の深度を深めるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	a
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	b
	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b	b	

**[自由記述欄]**

・期待する職員像を明文化し、法人独自のキャリアパスを作成して人事評価の基準を明確にするよう努めています。各個人が目標管理シートを作成し、半期毎に管理職と共に見直しを図りながら、職員の成長を促す等計画的に人事育成を行えるような仕組みを実施しています。人事配置や採用基準などは法人本部の管理となっています。園の管理者とより密な連携を取ることで、現場に必要な人員や今後の展望をより具体的に考慮した人事管理を行うとさらに良いでしょう。

・長期間にわたる勤続や復職する職員が多数おり、職員間の人間関係の良さを感じます。業務省力化を見据え、保育運営管理システムやそれを使用する為のタブレット端末を各クラスに設置する等、経営や業務課題の改善に取り組んでいます。ワークライフバランスを考えた配慮を個々人と相談して行っていますが、その内容を明文化し組織的な仕組みにつなげればより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	b
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	a
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	a	

**[自由記述欄]**

・入職の際に理事長自らが新人研修を行い、期待する職員像を具体的に伝えています。また、職員一人一人が年度初めに「目標管理シート」を作成し、当年度の個人目標を設定します。半期毎に管理職と面談を行い進捗や反省、見直しを行い、年度末に達成度と次年度への課題の指導を行える仕組みを構築しています。仕組みを確実に運用できるようスケジュール面など仕組みそのもの見直しも行えるとより良いでしょう。

・法人独自の「キャリア形成について」と言う階層別取得技能表を基に、職員一人一人が年間研修計画を立て、具体的な目標を持って研修に参加する仕組みを構築しています。半期ごとに研修計画の見直しを行い、管理職からのアドバイスをもらいつつ、研修内容の見直しなどを計画的に行っています。

・「実習生受け入れガイドライン」を策定し、受け入れの基本姿勢を明示しています。また、職員用の実習指導マニュアルを用いて、職員用の実習の研修を行っています。実習内容に関しては、学校側と連携してプログラムを臨機に整備しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-3 運営の透明性の確保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	b
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	a

[自由記述欄]

・事業計画や第三者評価の受診結果に関して、玄関にファイリングし保護者や来園者に自由に閲覧できるように掲示しています。ホームページに法人の運営理念や定款、決算報告等を掲載しています。より正しく園や法人のを知ってもらう為に、園の事業計画や事業報告などの適切な情報をホームページの定期的な更新やSNSの活用なども取り入れながら広く公開できればより良いでしょう。

・事業経理、運営に関しては法人本部が主体となり外部のコンサルタント会社と契約し、専門的な第三者の助言を受けつつ適切に管理運用しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	a
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	a
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	b
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	b
		27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	b

[自由記述欄]

・年間、月案指導計画に地域との関わりを文書化しています。コロナ禍の間は実施できていませんが、例年近隣の高齢者施設を訪問し、入居者の方々と触れ合い活動を行ったり、散歩MAPを作成し玄関に掲示することで、近隣の遊び場所を保護者に紹介したりしています。また、近隣の中学校で行われる様々な職業紹介の授業にボランティアとして職員を派遣するなど地域との交流に職員も含め努めています。

・「ボランティア(職場体験)受け入れガイドライン」を策定し、開始前には注意事項や子どもとの関わりについての研修を実施しています。また、職場体験として近隣の中学、高校生の受け入れを行っており、受け入れ前には職員への研修も行っています。

・向日市の公、民保育所所属の看護師が情報交換を行う「看護師会」や「障がい児部会」、「就学前児部会」など、様々な会議に出席し関係機関との連携をとっています。今後は会議以外でも情報共有や連携の仕組みを検討し、関係機関同士の連携がよりスムーズに行えるとより良いでしょう。

・現在はコロナ禍の影響で縮小していますが、子育て支援「ぽっかぽか」として地域の未就園児やその保護者に向けて毎木曜日の園庭開放や育児相談等を行っています。活動や連携内容を記録し整理することで、より深く地域の福祉ニーズを発掘し、今後の活動の方向性を具体化した計画を立案、実行していければより良いでしょう。

**Ⅲ 適切な福祉サービスの実施**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	b
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	a
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	b
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b

[自由記述欄]

・保育の紹介として子ども一人一人を尊重することがホームページや「入園のご案内」に記載されています。職員会議においてプライバシー保護や権利擁護についても共有されており、トイレやおむつ替えのために扉のある空間を用意するなど、取り組みも見られます。子どもを尊重した保育の提供に関する倫理綱領を策定されるとより良いでしょう。

・「入園のご案内」や向日市の情報誌「すくすくガイド」を市役所や子育て支援つどいのひろば「ねこばす」に置くことで、情報の提供をしています。コロナウイルスの影響で難しい部分もある中、園の説明や見学には団体から個別まで丁寧な対応を行うよう心がけています。

・保育の開始、変更等についてはクラスだより内でお知らせをしています。またクラスだよりも、記載することについて保護者にわかりやすく必要な内容となるよう、時期ごとにテーマを明確にしています。保育の継続のため、保護者の希望により引き継ぎ文書の作成をしています。利用が終了した後の相談方法や担当者について、重要事項説明書など分かりやすい個別配布の資料に明記しておくとなお良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	a

[自由記述欄]

・苦情解決の仕組みが確立しており、第三者委員についても玄関に掲示し保護者などに分かるよう明記しています。園内に入ってすぐのカウンター内が事務所となっており、保護者が職員に話しかけやすい環境が用意されています。またカウンター横にご意見ボックスを設置しており、利用者からの苦情、クレームやご意見は「クレーム受理表」で種別に記録、管理しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	a
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	b
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	b

[自由記述欄]

・「園庭安全確認表」を用意し、遊具の点検を毎朝行っており、職員一人一人の安心・安全への意識づけにもつながっています。また、大型遊具であるジップラインについては業者による点検を行っています。リスクマネジメントに関する役割分担を行い、責任者を明確にすることでより積極的なものとなるでしょう。

・感染症に関しては今後コロナウイルスに関するものが追加されていくこととなるでしょう。災害への対策として備蓄リストがあり、避難訓練簿も作成されています。さらなる対策として園の立地を把握した対策を講じていくと良いでしょう。不審者訓練など、防犯・防災訓練の年間計画表や危機管理マニュアルは策定されています。警察等との連携をすすめ、職員が具体的な防犯訓練を行うことで、子どもの安全確保によりつながっていくでしょう。



評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質 の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な 実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	b
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	b
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉 サービス実施計画が策定されてい る。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	a
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	a
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に 行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	a
[自由記述欄]					
<p>・各クラスにマニュアルファイルを設置しています。衛生関連のマニュアル内に部分的な保育マニュアル（保育についての標準的な実施方法）があります。OJTで伝えているより多くの保育の実施方法を明文化することで、保育の標準的な実施方法の標準化を図ると共に、相互チェックなどの機会を設け実施方法の検証や見直しを定期的に行うとよいでしょう。</p> <p>・アセスメントシートとして「入園前面談シート」が策定されており、またそのマニュアルがあることで適切なアセスメントを行うことにつながっています。0～2歳児と加配児は毎月「個別指導計画」が策定されており、「巡回指導カウンセラー」によるアドバイスは「巡回指導報告書」としてまとめられた上で指導計画にも反映されています。指導計画の見直しを年4回行い、園長主任が内容を確認し、担任保育士へ指導助言する仕組みがあります。見直し内容についても職員会議で周知し、全体で共有することで、保育の向上に結びつく取り組みとなっています。</p> <p>・個別の「発達経過記録」を作成し、子どもの発達段階を把握・記録しています。また「記録管理責任者」が設置されており、法人のマニュアル内にある個人情報保護方針、プライバシーポリシーやガイドラインなどに沿って適切に文書や記録が管理されています。個人情報の取り扱いについては、園に来ているボランティアの方々にもその都度同意書の記入を依頼しており、保護者へも入園の際に説明を行い、同意書の記入がなされています。</p>					



**A-1 保育内容**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	a
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	a
		48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	b

[自由記述欄]

・全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づき職員会議で検討した内容を元に作成しています。また、年度末にかけて職員の意見を集約し、見直しを行って次年度の計画に反映しています。

・園の南側は田んぼが広がり、温かい日差しや生き物たちの声がダイレクトに飛び込んできます。保育室に温度、湿度計や空気清浄機が置かれ、過ごし易さや健康面へ配慮した、清潔で心地良い環境を保つように努力しています。

・一人一人の子どもを温かく愛情をもって言葉かけをしたり、子どもの気持ちを組み取りながら、ゆったりと接したりする姿勢を保育現場で大切にしています。また、保育室では一人で遊べるスペースを作り一人一人の子どもに応じた対応をするなど、子どもが心地よく過ごせる環境づくりに努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	a

[自由記述欄]

・園周辺の恵まれた自然環境の中で虫取りしたり散歩をしたり、子どもたちは自然を満喫しながら経験を深めています。また、体操教室、リトミック、英語、LEGOスクールといった外部講師を導入しています。

・保育時間の長い子どもに補食提供し、延長日記と口頭で延長保育の子どもの引き継ぎを適切に行っています。また、長時間保育についても全体的な計画の中に組み込み、日常保育の一環として取り組んでいます。今後は、指導計画に長時間保育に関する狙いや配慮などを記載し、より具体的に計画を立てて取り組まれることを期待します。

・コロナ禍の今は小学校からの要望もあり実施されていませんが、以前は5歳児が小学校を訪問したり小学生が保育園を訪問したりと交流があり、保護者が小学校に行かれる機会も設けていました。今は5歳児に生活習慣として小学校から使うハンカチを使用したり、小学校の話をしたり、園内で小学校に向けての取り組みを工夫行っています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	b
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

[自由記述欄]

・保健衛生マニュアル、保健計画を整備し、子どもの健康管理を適切に行っており、保護者には保健だよりを配布し感染症予防や子どもの日常的な健康管理に関して啓発を行っています。年2回の内科健診・歯科健診・尿検査・年1回の視力検査を実施し、保護者に結果をプリントで知らせることで子どもの成長や健康面での情報を共有しています。また、SIDSに関するマニュアルを整備し、既定のチェックを欠かさず行い記録しています。

・食物アレルギーの子どもには医師指示書に基づいて対応し、アレルギー対応食は、色の違うトレーに乗せて食器のラップに名前を記入し配膳するなど誤食防止に努めています。今後は誤食時の緊急手順、役割分担などの具体的対応を記したマニュアルを作成し、定期的に訓練を行うとより良いでしょう。

・給食は地元の野菜や米を使い、園内に取引先の地元農家の方を紹介するなど、安全性への配慮、地産地消の取り組みに励んでいます。特産物のタケノコを使った土佐煮やお月見ランチなど、地域性や季節感のある献立を立て提供しています。また、園庭の畑で大根、ホウレンソウ、人参などを子どもたちと栽培し、皆で収穫した野菜などを使ってクッキングを経験するなど食育への取り組みに励んでいます。

・給食時は コロナ対策に透明のアクリルパーテーションを使用するなど感染予防に取り組んでいます。

**A-2 子育て支援**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	b
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び 虐待の予防に努めている。	a	b
	A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	b

[自由記述欄]

・0～2歳児は連絡ノート、幼児は玄関のボードへの記入で日々の子どもの様子を知らせたり、ICTを活用し子どもの写真を配信したりしています。年に1回の保護者との個別面談(5歳児は年2回)以外にも必要に応じて面談を行い、記録を残し個々の保育に反映しています。記録の内容や保育に反映した内容の背景が職員全体で共有できるような仕組みを構築するとより良いでしょう。

・虐待防止マニュアルを整備し、園長が定期的に会議で話をすることで職員全員が虐待の早期発見や予防に努めています。今後は虐待防止の為の研修を実施し、より具体的な対応や注意点の内容を職員に周知すると共に、研修の内容を記録に残しマニュアルの定期的な見直しを行うと、より良いでしょう。

・園独自の自己評価を年に2回、法人本部による自己評価を年1回行い、保育士自身の保育に対する姿勢や目標管理を積極的に行っています。半期ごとの個人の研修計画の見直しと合わせて、保育実践の改善や専門性の向上に真摯に努めています。今後は個々の学びで終らせず、互いに学んだことを発表したり実践し合えるような園内での研修の場を設けるなど、園全体の保育の改善や専門性の向上に取り組まれるとより良いでしょう。